

沖縄県平和祈念資料館だより

第18回特別企画展の開催報告

平成29年度の特別企画展は「戦世と沖縄芝居」を主題に置き、戦前沖縄で実施された同化政策や言論統制、戦時中の文化統制などを、沖縄芝居の視点から紹介しました。時代や世相に影響されながらも現代まで逞しく生き続けた沖縄芝居と近代沖縄の歴史を照らし合わせ、表現の自由そして言葉や文化などのアイデンティティーの尊重が平和な社会構築に繋がるということを再認識する機会としていただきました。

- 1 名 称：第18回特別企画展「戦世と沖縄芝居 一夢に見る沖縄 元姿やしがり」
- 2 開催期間：平成29年10月5日(木)～12月10日(日) 沖縄県平和祈念資料館
平成30年1月20日(土)～2月22日(木) 八重山平和祈念館

3 展示内容：

第Ⅰ部 沖縄芝居のはじまり

- 1 沖縄芝居の誕生
- 2 日清・日露戦争と沖縄芝居
- 3 近代沖縄女性と沖縄芝居

第Ⅱ部 沖縄芝居の受難

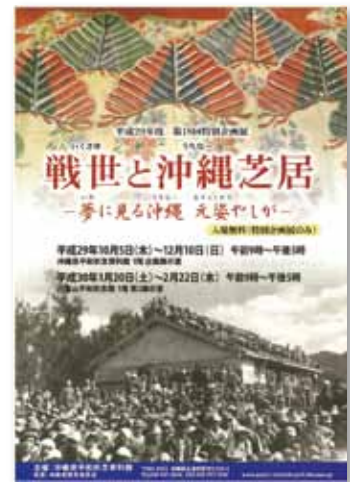
- 1 法による規制
- 2 新聞による沖縄芝居への批判

第Ⅲ部 戦世と沖縄芝居

- 1 戦時下の沖縄
- 2 灰燼に帰す沖縄芝居

第Ⅳ部 戦後の復活といま

- 1 沖縄芸能の復活
- 2 次世代へ受け継がれる「沖縄のこころ」



特別講座「戦世と沖縄文化～文化財と芝居の視点から～」

平成29年度特別企画展「戦世と沖縄芝居 一夢に見る沖縄 元姿やしがり」の関連催事として特別講座が下記の日程で開催されました。沖縄戦では有形・無形の貴重な文化財が失われ、沖縄のアイデンティティーの喪失にもなりかねない事態となりましたが、戦後、人々は焦土の中から再び立ち上がり郷土文化の復興を果たしました。その様子をお二人の講師をお招きしてお話していただきました。

日 時：平成30年1月28日(日)午後2時～4時 場所：沖縄県平和祈念資料館
講 師：萩尾俊章 氏(沖縄県教育庁文化財課課長)、八木政男 氏(元琉球歌劇保存会会長)
参加者：75名



企画展 新収蔵品展 (平成27・28年度) 『モノからつなぐ記憶』

本展示会では、平成27年度から平成28年度にかけてご寄贈頂いた147点の資料を戦前・戦中・戦後に分けて公開しています。

本展示会を通して、新たな収蔵資料を県民財産として公開するとともに、資料に託された記憶を感じ取って頂き、沖縄戦及び戦前から戦後の歴史に対する理解を深め、次世代につなげて行く場になればと思います。

〔期間〕 平成30年2月1日(木)
～平成30年4月10日(火)
〔場所〕 1階企画展示室



平成29年度 第5回子ども・プロセス企画展 『世界の子どもたち ー国際理解を深めようー』

子ども・プロセス展示室にある「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」に関連する18か国の資料を中心に展示します。世界には多くの国々と多様な文化があることを学び、日本と違うことや似ていることなどを感じ取ってもらいます。そして、平和で豊かな世界をきずくためにはどうすればいいのか、子どもたち一人ひとりが考える機会にします。

〔期間〕 平成30年3月1日(木)～5月15日(火)
〔場所〕 子ども・プロセス展示室



平成29年度ギャラリー展

○第2回「児童・生徒の平和メッセージ展 アーカイブ展」

期間：平成29年8月1日(火)～9月29日(金)

過去の最優秀賞作品を再展示し同時期開催のメッセージ展県内巡回展の告知とともに、過去の優秀作品の貸し出しについて広く周知し、活用してもらおう場としました。



○第4回「ファインダー越しの笑顔～収容所から始まった戦後～」

期間：平成29年12月1日(金)～平成30年1月31日(水)

当館所蔵の「米軍記録写真」の中から収容所での人々の様子を捉えた写真を展示し、今に続く戦後の始まりを顧みる場としました。



博物館学芸員実習

当館では、県内外の大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸員資格取得のための研修を行っています。具体的には資料収集・保存活動、調査研究活動、展示活動、教育普及活動などいわゆる学芸業務全般について研修を集中的に行います。この実習は、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供するものです。従来の活動に加え、実習生それぞれが作成した平和講話の発表会を最終日に実施しました。

[期間]

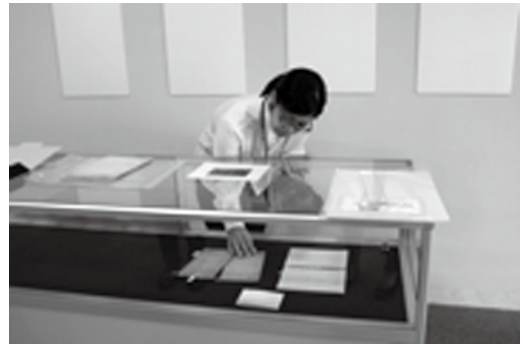
平成29年8月8日(火)～8月17日(木)
※8月11日～13日を除く(7日間)

[内容]

- ① 資料整理・分類・登録
- ② 展示準備・企画展への参加
- ③ 野外実習(近隣の戦跡、類似館の見学)
- ④ 調査研究
- ⑤ 教育普及(平和講話資料作成、発表)

[実習生]

沖縄国際大学 1名



実習の様子(展示列品実習)

インターンシップ受け入れ報告

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの児童・生徒・学生を受け入れています。平成29年度は、以下のとおり、中学校及び県立高校、大学から9名の実習生を受け入れました。体験した生徒の皆さんが、自分の個性を發揮し、将来地域に貢献できる人材になることを期待しています。

[学校名・人数・期間]

- ・京都学園大学 (1名) 8月14日(月)～25日(金)10日間
- ・糸満市立糸満中学校 (3名) 10月17日(火)～19日(木)
- ・沖縄県立糸満高等学校 (2名) 10月24日(火)～26日(木)
- ・沖縄県立豊見城南高等学校(2名) 11月15日(水)～17日(金)
- ・沖縄県立久米島高等学校 (1名) 12月12日(火)～14日(木)

[実習内容]

- ・収集資料の分類及び整理
- ・展示室の清掃及び管理
- ・展示資料の設置及び片付け等
- ・収蔵品の分類及び整理
- ・アンケートの集計作業
- ・館内の清掃作業
- ・貸出資料の点検及び整理
- ・平和講話の準備



礎の清掃



新聞の切り抜き作業

平成29年度 沖縄県平和祈念資料館講習会

当館への案内業務に携わっている旅行・観光等の関係機関に携わる方々に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に講習会を実施しました。

〈日 時〉平成30年3月14日(水) 13:30 ~ 16:10

〈場 所〉沖縄県平和祈念資料館 大会議室

〈対 象〉タクシー乗務員・バスガイド・ボランティア・観光等関係者など

〈講習内容〉平和行政・資料館の概要(設立理念等)について

沖縄戦について

常設展示室・主な事業について

常設展示室・子どもプロセス展見学



平和講話県内学校等講師派遣事業がスタートしました。

平和講話県内学校等講師派遣事業とは、当館の展示室見学において事前または事後学習として、講師が学校に出向き平和講話を行うことができる新たな取り組みです。対象校としては、沖縄県内の小・中・高等学校で所在地が離島または遠隔地にあつて、当館での平和講話が受講困難等の条件がありますが、今年度は、名護小学校が展示室の見学後に事後学習でこの事業を活用してくれました。

詳しいことは当館のHPや電話でお問い合わせ下さい。



(名護小学校での講話の様子)

「戦世の記憶」平和発信強化事業

沖縄県平和祈念資料館では沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に沖縄のこころを発信するために次の事業を行っています。

1. 戦争体験者証言の多言語翻訳

沖縄県平和祈念資料館が平成28年度に収録した30人の戦争体験者証言の反訳文をもとに7言語の多言語翻訳を行いました。

※多言語= 英語、中国語(簡体字)、韓国語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、マレー語



《翻訳の作業》

2. 70人の証言映像吹き替え版の作成

沖縄県平和祈念資料館が平成28年度に多言語翻訳した7言語40人分の戦争体験者証言と上記1で作成した翻訳文も含め70人分の多言語吹き替え映像を編集・作成しました。



《字幕入り多言語吹き替え映像:英語版》



《吹き替え映像編集の様子》

大学連携事業

1 沖縄大学 出張講話 ※学生25名参加

- (1)期日：平成29年12月15日(金) 14:40～16:10
- (2)内容：平和教育の意義、平和講話、資料館の活用について

2 沖縄大学 吉井ゼミ平和学習 ※学生11名参加

- (1)期日：平成30年1月11日(金) 13:00～15:30
- (2)内容：平和講話、常設展示室見学、フィールドワーク(平和の礎、戦跡等)



平和講話



常設展示室見学



フィールドワーク

平成29年度 友の会講話・ガイド活動実績件数 (平成29年4月～平成30年1月)

(1)平和講話・ガイド実績

団 体	実施件数	実施人数	派遣講師
高 校	47(県内17)	12,217	59
中 学 校	64(県内12)	11,288	102
小 学 校	19(県内15)	8,293	20
そ の 他	43	764	49
合 計	173	32,562	230

(2)常設展示室解説員 配置実績50人

(3)平和祈念財団こいのぼり掲揚式への協力

(4)平成29年度友の会総会 5月13日(土)

(5)学習会：平和学習ウォーク 5月20日(土)

「月桃の花咲く頃 安里から首里への道」-戦場への根こそぎ動員-

(6)学習会：平和学習フィールドワーク 8月6日(日)

「伊江島の戦跡巡りと米軍LCT爆発事故現場での検証・体験者証言」
-8月6日もうひとつの被爆-

(7)平和祈念財団 平和祈念公園愛護活動への協力

(8)学習会：沖縄県平和祈念資料館特別講座 1月28日(日)

「戦世と沖縄文化 -文化財と芝居の視点から-

講師 八木政男 氏(元琉球歌劇保存会会長) 萩尾俊章(県教育庁文化財課課長)

八重山平和祈念館 平成29年度 事業実施報告

(1)「夏休み企画」(平和についての調べ学習コーナー等)

【期間】平成29年8月1日(火)～8月27日(日)

子どもたちの夏休み期間中に合わせ、平和学習等をテーマに自由研究に取り組む児童生徒への場を提供し、支援を行いました。

併せて、石垣島の慰霊碑に関するミニパネル展、戦争に関するアニメビデオの上映会を行いました。



(2)「開拓移民の歴史 ～ふる里を手離し、ふる里を造った人たち～」

【期間】平成29年11月1日(水)～11月26日(日)

戦後、引揚者等により人が溢れ、食糧難を引き起こした沖縄。そのような状況下、沖縄各地から新たな耕作地を求めて石垣島や西表島に入植し、新たな村を建設していった人々の当時の様子等を紹介しました。

観覧された方からは、『当時の写真が懐かしい』『先人たちの勇気と努力に感動しました』等の声が寄せられました。



(3) 世界人権宣言パネル展

【期間】平成29年12月1日(金)～12月10日(日)

人権週間(12月4日～10日)に合わせて、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く訴え、人権を尊重する精神の高揚を図ることを目的としてパネル展を実施しました。



寄贈品紹介

○ 実物資料

6個人から6件で38点の資料寄贈がありました。

※平成30年2月13日現在

No.	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	H29.4.10	アルミ製水筒 薬莢 ガスマスク缶・チューブ ベルトのバックル 柏木体温計 銃口蓋	7	山下 智文
2	H29.4.19	米軍の輸血・点滴用薬品瓶 他	8	仲村 真
3	H29.4.21	日の丸寄せ書き	1	新崎 康夫
4	H29.6.11	軍服 腰巻(千人針) チョッキ	4	仲宗根 保
5	H30.2.7	南洋廳サイパン尋常高等學校卒業證書 他	14	藤田 ゆうこ
6	H30.2.13	日本渡航証明書 他	4	本庄 美佐子



OKINAWA PREFECTURAL
PEACE MEMORIAL MUSEUM

平成30年度 年間スケジュール 沖縄県平和祈念資料館

Event Schedule
2018.4
▼
2019.3

開館時間

午前9時～午後5時
(常設展示室への入室は午後4時30分まで)

休館日

- ・展示室燻蒸 (7月17日～19日)
- ・年末年始 (12月29日～1月3日)

観覧料 (常設展示室)

	個人	団体 (20名以上)
大人	300円	240円
小人	150円	100円

住所 〒901-0333

沖縄県糸満市字摩文仁 614-1

Tel 098-997-3844

Fax 098-997-3947

HP <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp>

Mail webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

		企画展							催し物など
4月	日	月	火	水	木	金	土	第5回 こども プロセス企画展 3/1(木) ～5/15(火)	◆3日(火) 学校向け平和講話等 利用説明会
	1	2	3	4	5	6	7		
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
5月	日	月	火	水	木	金	土	第1回 こども プロセス企画展 5/28(月) ～7/10(火)	◆5日(土) 子供の日 ビデオ上映会
			1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
6月	日	月	火	水	木	金	土	児童・生徒の 平和メッセージ展 本館 6/23(土) ～7/6(金) 八重山 7/13(金) ～7/22(日) 宮古 8/1(水) ～8/10(金) 県庁 8/20(月) ～8/24(金) 名護 9/12(水) ～9/19(水)	◆23日(土)慰霊の日 ・入館料無料 ・沖縄戦関連映画上映
						1	2		
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
7月	日	月	火	水	木	金	土	第2回 こども プロセス企画展 7/21(土) ～8/31(金)	※7/17(火)～19(木) 館内燻蒸作業のため休館
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
8月	日	月	火	水	木	金	土	第3回 こども プロセス企画展 9/14(金) ～1/31(木)	◆夏休み子ども向け ウィーク
9月	日	月	火	水	木	金	土	特別企画展 10/4(木) ～12/9(日)	◆特別講座
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
10月	日	月	火	水	木	金	土	八重山平和祈念館 移動展 特別企画展 1/19(土) ～2/24(日)	
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
11月	日	月	火	水	木	金	土	児童・生徒の 平和メッセージ展 ハワイ	
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
12月	日	月	火	水	木	金	土	第4回 こども プロセス企画展 2/15(金) ～5/15(水)	◆資料館講習会
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
1月	日	月	火	水	木	金	土		
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		
2月	日	月	火	水	木	金	土		
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
3月	日	月	火	水	木	金	土		
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		

※●は休館日

※行事内容・日程は都合により変更になる場合があります。

第28回 児童・生徒の平和メッセージ（図画・作文・詩）作品募集要項

1. 募集対象

沖縄県内の小・中・高等学校、高等専門学校、特別支援学校の児童・生徒

2. 応募方法

<各部門共通>

- 作品はすべて所属の学校を通して応募する。
- 図画・作文・詩ともに未発表作品で、各分野につき一人一点とする。
- 学校名、学年、氏名（フリガナ）、題名を必ず応募ラベルに記入する。

<図画部門>

- 市販の画用紙（四つ切り、38cm×54cm）を使用する。
- 画材、表現方法等は自由であるが、立体作品は避ける。
- 図画には文字のメッセージは入れない。

<作文部門>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙とし、コピー（市販用紙を複製したもの）を使用しない。（小学校1、2年生は200字詰め原稿用紙も可）
- 小学校1、2年生は原稿用紙2枚程度、小学校3、4年生は3枚程度、小学校5、6年生は4枚程度、中学生及び高校生は5枚程度とする。作品は清書して提出（代筆不可）する。
- ※ 特別支援学校及び特別支援学級については、学年を問わず2～3枚程度とする。また、障がいの程度に

応じて代筆も可とする。

<詩部門>

- 原稿用紙は400字詰め・B4サイズ・縦書きの市販の用紙とし、コピー（市販用紙を複製したもの）を使用しない。（小学校1、2年生は200字詰め原稿用紙も可）
- 枚数は特に指定しない。作品は清書して提出（代筆不可）する。
- ※ 特別支援学校及び特別支援学級については、障がいの程度に応じて代筆も可とする。

3. 募集期間

平成30年5月1日（火）～5月21日（月）

※ 〆切 5月21日（月）

17:00必着。（当館持ち込み可）

4. 作品の送り先

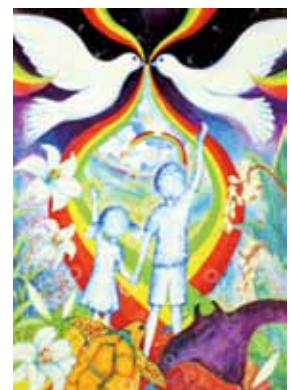
〒901-0333

糸満市摩文仁614番地の1

沖縄県平和祈念資料館

（電話：098-997-3844・

FAX：098-997-3947）



入館者700万人目 突破

開館以来、県内外から多くの皆様が当資料館を訪れています。平成29年11月9日（木）には、平成12年4月の開館以降、700万人目のお客様が訪れました。

記念すべき700万人目の入館者は東京都から修学旅行で訪れていた篠原君。急なことに驚いている様子でしたが、原田館長から記念品を受け取り、「正直うれしいです。」とコメントしていました。今後も当資料館では、より一層、展示・事業の充実を図り、平和を発信する役目を担っていこうと考えています。皆様のご来館を心からお待ちしています。

明治大学附属中野八王子高等学校の篠原辰徳君と原田館長



資料のご提供について

戦後73年を迎え、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくこととなります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいませよう、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

資料の貸出しについて

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」、「沖縄戦写真パネル」、「沖縄戦の絵」、「実物資料」、「平和学習キット」の貸出しを行っています。平和学習の補助教材として、県内外学校からの申込みをお待ちしております。

県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教訓を次代へ正しく伝えることが急務となっています。当館では沖縄戦の理解と平和のために何ができるかを考えてもらうきっかけとなるように、県内の小中高校、特別支援学校に対する「平和講話」を実施しております。内容は、沖縄戦に至るまでの歴史的経緯や沖縄戦の特徴、常設展示室の見所などです。総合学習等の一環としてさらなる活用をお願いします。年間を通して実施しておりますが、4月から慰霊の日にかけては込み合いますので早めの御予約をお願いします。

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
E-MAIL webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp

